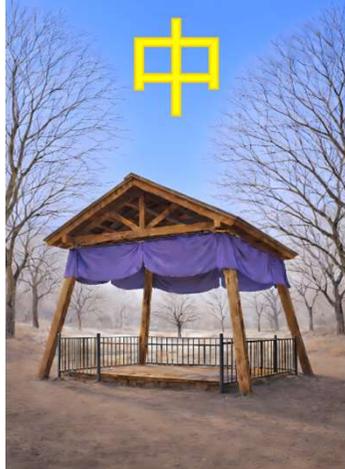




氷川の杜
公園
ワーク
ショップ
開催中



氷川の杜公園再整備 第2回ワークショップ

日時: 令和8年2月21日(土)
10:00~12:00

場所: 氷川の杜公園

主催: 渋谷区土木部公園課公園整備係

1.ワークショップの目的

渋谷区では、「渋谷区基本構想」の実現を目指し、区内の公園を渋谷区に関わるすべての人に愛され、区民自身が誇りに感じられる魅力的な場所にしていくため、令和3年8月に「渋谷区魅力ある公園整備計画」を策定しました。

氷川の杜公園がこれまで以上に魅力あふれる公園となるよう、再整備を計画しています。

今回のワークショップでは、公園整備に向けて、第1回ワークショップ結果と、その結果を基に策定した整備方針(案)、ゾーニング図(施設の配置計画)について、地域の皆様のご意見を頂き、公園整備に反映させることを目的としています。

2.第1回ワークショップ結果のまとめ

※紙面の都合により全てのご意見やご要望を載せておりません。
※同様の内容は集約し、一部表現の修正を行っています。
※課題の意見をピンク色、要望の意見を黄色で整理しています。

公園全体の課題

- ・段差が多くて遊びにくい
- ・遊歩道、樹木、土俵などの老朽化

公園全体の要望

- ・多様な来場者へ対応した整備にしてほしい
- ・バリアフリーにしてほしい
- ・遊び場と憩いの場が分かれていて良い
- ・安心安全な遊び場
- ・防災拠点として整備してほしい
- ・氷川の柱を残し文化が続く環境整備に留めてほしい
- ・歴史と文化を大切にしたい整備してほしい
- ・高齢者に配慮した公園にしてほしい
- ・大規模な改修はしないでほしい

休憩場所等に関する課題

- ・ベンチが使いにくい
(スツールが冷たい)
- ・ベンチが少ない
- ・日当たりの悪い箇所がある

休憩場所等に関する要望

- ・日当たりを良くしてほしい
- ・座って冷たくないベンチ
- ・ベンチを増やしてほしい
- ・隣り合って数人で座れる長いベンチ
- ・飲食ができるベンチテーブルの整備
- ・飲食の場所、カフェが欲しい
- ・日陰が欲しい(屋根)
- ・斜面を利用したベンチ
- ・かまどベンチが欲しい

遊び場の課題

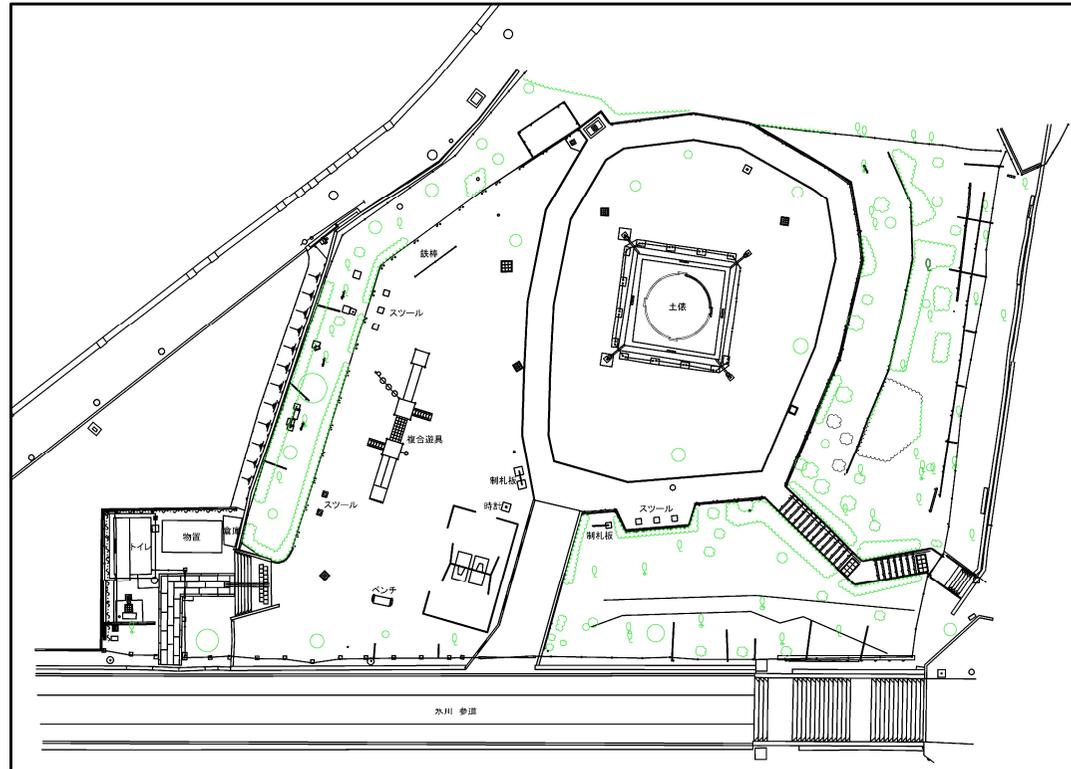
- ・遊具が少ない
- ・子どもと犬が交錯して危ない
- ・ボール遊びは飛び出しするので危ない

遊び方の要望

- ・ボール遊び
- ・水遊び場
- ・犬遊びができる場所
- ・坂で遊べるようにしてほしい

遊具の要望

- ・アスレチック遊具
- ・シーソー、砂場、複合遊具、ブランコ
- ・インクルーシブ遊具
- ・児童が遊べる遊具等が欲しい



樹木の課題

- ・斜面の草木が多い
- ・擁壁横のイチヨウの倒木が心配

樹木への要望

- ・樹木看板が欲しい
- ・剪定をしてほしい
- ・樹木を増やしてほしい
- ・日陰ができる木を残してほしい

自然への要望

- ・自然を残してほしい
- ・虫取りができる場所を増やしてほしい

安全面の課題

- ・大谷石が危険(トイレ付近)
- ・土俵の柵の隙間が危ない

施設等に対する要望

- ・土俵は残してほしい
- ・水道横を有効活用してほしい
- ・水道をおしゃれにしてほしい
- ・水道を使いやすくしてほしい
- ・水道横に花壇を整備してほしい
- ・駐輪場が欲しい
- ・芝生を整備してほしい

トイレの課題

- ・男女共用で使いづらい
- ・安全性、機能が悪い
- ・カギがあいている
- ・汚い

トイレの要望

- ・安全、清潔にしてほしい
- ・綺麗にしてほしい
- ・渋谷らしいトイレに直してほしい
- ・安全性を確保してほしい

公園へのアクセスの課題

- ・西側道路からのアクセスが不便

公園へのアクセスの要望

- ・西側道路からアクセスできるようにしてほしい

3.再整備の整備方針(案)

ワークショップの結果を基に再整備方針(案)を考えました。

再整備の目指すテーマ(案)

氷川の杜の「歴史・文化を継承」し、

「緑豊かな」「快適な憩いの場」「安心な遊び場」を創出

再整備のコンセプト(案)

○自然を保全・活用した緑豊かな公園

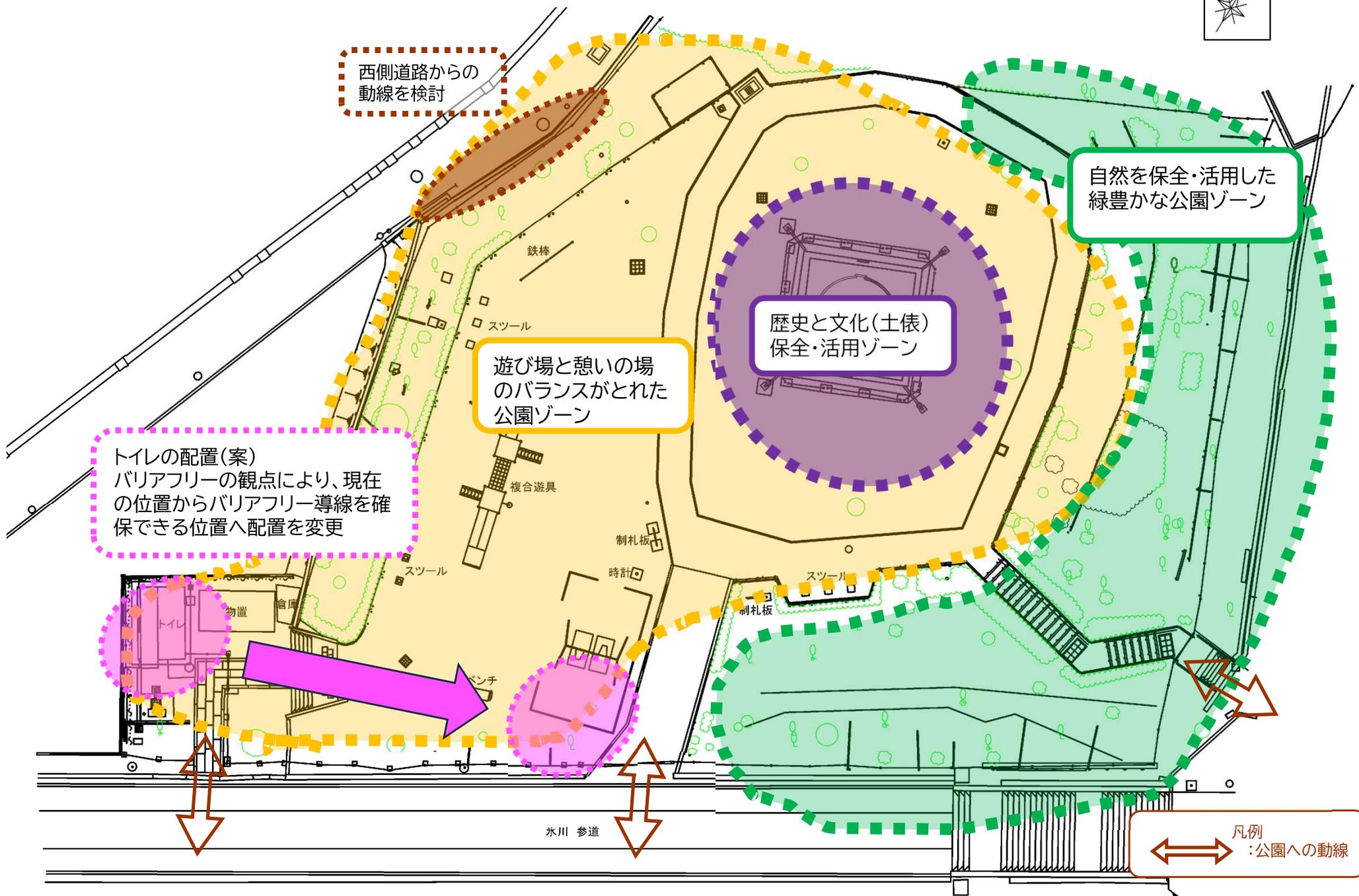
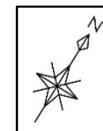
○歴史と文化(土俵)を保全・活用した魅力ある公園

○多様な利用者に配慮したバリアフリーな公園

○安心・安全な遊び場と快適な憩いの場のバランスがとれた公園

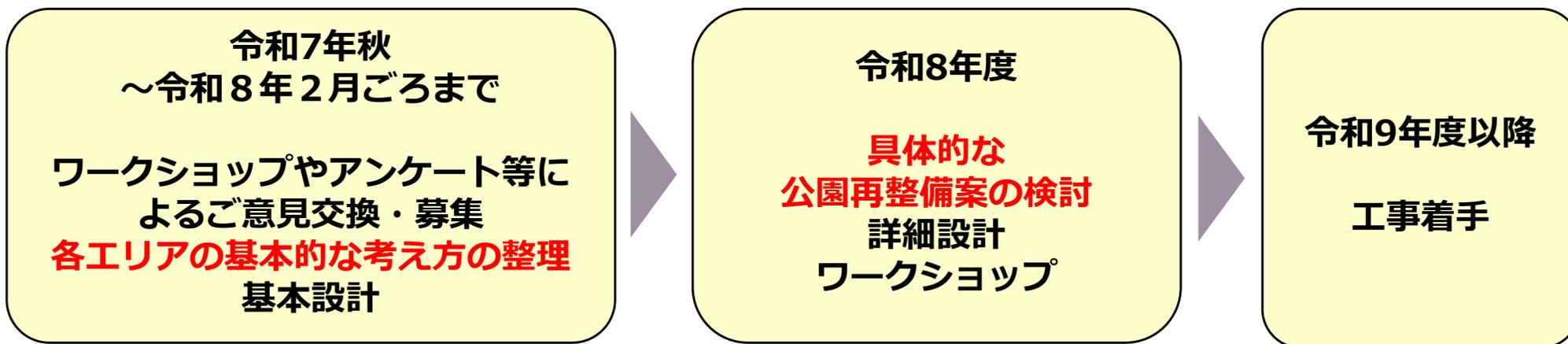
4.ゾーニング図(案)

再整備方針(案)を基に
ゾーニング図(案)を考えました。



5. 今後の予定

- 全体スケジュール（予定）



- アンケートのお願い

本日はご参加いただきましてありがとうございました。
お手元の用紙がワークショップについてのアンケートとなっています。
今後のワークショップ運営の参考のため、回答のご協力をお願いします。